

# 第 4 次男女共同参画プランまるがめ

令和 4 年度事業実績

丸亀市総務部人権課男女共同参画室

# 目 次

## 事業実績

目標 1	男女共同参画の意識づくり	1
目標 2	男女共同参画を推進する教育、学びの機会の充実（意識醸成・健康保持）	4
目標 3	政策・方針決定過程への女性参画の推進	10
目標 4	男女のワーク・ライフ・バランスの推進（職場・家庭・地域活動）《重点目標》	14
目標 5	労働環境における女性活躍の整備	26
目標 6	女性に対するあらゆる暴力の根絶（教育・啓発・相談体制）《重点目標》	29
目標 7	困難を抱える人が安心して生活できる環境整備	35

## 目標1 男女共同参画の意識づくり

《目指すまちの姿》  
男性も女性も一人ひとりが誇りを持って自分らしく生きています。「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、個人として等しく尊重され、男女共同参画の必要性について理解を深めています。

施策番号【1】 男女の人権尊重・男女共同参画意識の醸成に向けた広報・啓発の充実

施策の内容	多様な団体との連携、すべての年齢層が手軽に情報を入手できるような様々な広報媒体の活用、男女共同参画の必要性について共感を得られるような内容による効果的な広報・啓発活動を行います。	事業番号 1~3
	地域や団体などで男女の人権尊重と男女共同参画を推進するリーダーを養成するとともに、リーダーが活動しやすいように協力します。	4
	市が制作する広報物などについて、男女の人権尊重と男女共同参画の視点に立った適切な表現を推進します。	5~6

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
1	市ホームページの「男女共同参画」ページへのアクセス回数	年372回 (R2年度)	年845回					年600回 (R8年度)	男女共同参画室
2	男女共同参画に関連する本の新規受入冊数	51冊 (R2年度)	63冊					60冊 (R8年度)	図書館
3	スポーツ少年団の男女共同参画関連研修会の参加者数	— (R2年度)	50人					60人 (R8年度)	スポーツ推進課
4	女性人財リストを活用した市の取組実践数	— (R2年度)	年1件					年5件 (R8年度)	男女共同参画室
6	市役所、コミュニティセンターにおける啓発パネル展の実施回数	年14回 (R2年度)	年16回					年22回 (R8年度)	男女共同参画室

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
1	—	—	—	—	男女共同参画室
2		内閣府発行の冊子や丸亀市男女共同参画情報誌等、リーフレット等を収集・閲覧し、男女共同参画に関する図書の購入に努めた。	男女共同参画に関する資料を収集し、市民に様々な情報を提供することができた。	今後も多岐にわたる情報を入手するよう心がけ、閲覧、掲示、貸出に努めたい。	図書館
3		スポ少指導者・母集団研修会に併せて開催した男女共同参画に関する研修会(11/25)	男女共同についての理解	継続的な実施	スポーツ推進課
4		女性人財リスト事業実施要領を作成し、3名の登録者を確保した。うち1名には、マルタスで講座を実施、および審議会等の委員選考として利用申込があった。	市ホームページに女性人財リスト登録者一覧を公開することによって、登録者の活動の幅を広げることができた。	リスト登録者はまだまだ少ない状況であり、利用申込も少ないため、リストの存在を広く周知していく必要がある。	男女共同参画室

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
5		広報紙において、男女いずれかに偏った表現にならないよう配慮した。	読者の男女共同参画への意識向上	継続的な推進及び広報紙の読者以外への啓発	広聴広報課
6	—	—	—	—	男女共同参画室

## 目標1 男女共同参画の意識づくり

### 《目指すまちの姿》

男性も女性も一人ひとりが誇りを持って自分らしく生きています。「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、個人として等しく尊重され、男女共同参画の必要性について理解を深めています。

施策番号【2】 情報の収集・提供と実態調査・研究の実施

施策の内容	市民が、男女共同参画をめぐる国際社会の動きと我が国の状況について理解を深められるように、国際的動向などの情報収集と提供を行います。	事業番号 7
	人権や男女共同参画に関する調査を行い、把握したデータなどを基に、実態把握と今後の施策検討を行います。	8~9

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
7	—	—	—	—	男女共同参画室
8		全職員対象の研修では、人権課題を身近なものとして捉えられるようR1実施「丸亀市人権・同和問題意識調査」等の結果を活用し、理解の促進を図った。	性別や性的指向・性自認に関わらず、多様性を認め合う必要性について、理解を深めることができました。	新たな人権課題も増えており、全ての課題について詳しい研修を一度に行うのは困難であるが、一人ひとりが人権意識を高められるような研修となるよう工夫する。	人権課
9	—	—	—	—	男女共同参画室

目標2 男女共同参画を推進する教育、学びの機会の充実(意識醸成・健康保持)

《目指すまちの姿》  
 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。また、男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。

施策番号【1】 男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進

施策の内容	子どもが発達段階に応じて男女の人権尊重や男女共同参画への理解を深めることができるよう、男女共同参画の視点に立った学校運営や教育、学習、保育を充実させます。	事業番号 10～11
	教職員や保育士が、男女共同参画の理念とジェンダーに関する理解を深められる機会を提供します。	12～13

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
10	—	—	—	—	学校教育課
11	—	—	—	—	幼保運営課
12	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会で、セクシュアルハラスメント防止に関する指示・指導を行った。(3回実施)</li> <li>・各校の校内研修において、男女共同参画やLGBTに視点を当てた研修を行った。</li> </ul>	教職員や児童・生徒のジェンダーに関する理解が広がっている。	男女関係なく自分の姿を自由に表現できる環境づくりや相談体制の充実	学校教育課
13	—	—	—	—	幼保運営課

## 目標2 男女共同参画を推進する教育、学びの機会の充実(意識醸成・健康保持)

### 《目指すまちの姿》

家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。また、男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。

施策番号【2】 男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進

施策の内容

子どものころから、性別役割分担意識にとらわれない家庭生活を基盤とした人生設計と、生涯の仕事やキャリアについて学び、考える機会を提供します。

事業番号

14

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
14		—	—	—	学校教育課

## 目標2 男女共同参画を推進する教育、学びの機会の充実(意識醸成・健康保持)

### 《目指すまちの姿》

家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。また、男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。

施策番号【3】 男女共同参画の推進に向けた学びの機会の提供

施策の内容	男女がともに、社会の様々な事柄を男女共同参画の視点で理解し、豊かに生きる力を養うことができるよう、また、家庭や地域において、男女共同参画の視点を持って子どもを教育することができるよう情報提供を行い、働く人も参加できる学びの機会を提供します。	事業番号 15～17
	女性の貧困対策のため、ライフプランニングの重要性や人生全般におけるリスク管理への理解を深めるよう、特に若い層へ働き掛けます。	18～19

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
15	男女共同参画を推進する講演会や講座、セミナーなどの開催回数	年5回 (R2年度)	年7回					年10回 (R8年度)	男女共同参画室
16	地域コーディネーター養成講座受講者数(延べ人数)	年99人 (R2年度)	年88人					年130人 (R8年度)	生涯学習課
18	ライフプランニングに関する市主催イベントの実施回数と参加人数	— (R2年度)	年0回					年2回 20人 (R8年度)	男女共同参画室

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
15	—	—	—	—	男女共同参画室
16	—	—	—	—	生涯学習課
17	—	—	—	—	図書館
18		市内企業の新採研修(2社実施・計45人)にて、ワーク・ライフ・バランスの重要性および正規雇用と非正規雇用の賃金格差について伝える。	ライフステージ(結婚・出産)の選択について考えてもらい、辞職または非正規雇用を選ぶ場合、貧困につながる場合があることを理解してもらうことができました。	新採研修の場以外でも、女性の貧困対策について若年層が理解を深められるよう情報発信に努める。	男女共同参画室
19		市民学級において、「子育て世代のマネー講座」を開催し、12名が受講した。オンライン講座として行い、小さな子どもがいても受講しやすい環境を整えた。	子育て世代にお金の視点から見た生活設計などに関する学習機会を提供することができた。	受講者は募集定員の半分ほどだったため、今までは違った周知広報のアプローチを検討する必要がある。	生涯学習課



## 目標2 男女共同参画を推進する教育、学びの機会の充実(意識醸成・健康保持)

### 《目指すまちの姿》

家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。また、男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。

施策番号【4】 男女の性をともに理解・尊重する意識の浸透

施策の内容

発達段階に応じて、児童、生徒が生命の教育をはじめとする性に関する正しい知識と、自ら考え判断する能力を身につけられるよう、男女の人権尊重の精神に基づく性教育を推進します。

事業番号

20～21

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県の「生命(いのち)の安全教育」に係る周知に伴う各校への指導を行った。</li> <li>・「生命(いのち)の安全教育」に関する年間指導計画を作成し、校内研修を行った。</li> </ul>	<p>発達段階に応じた指導を教育活動に位置付けることで教職員の意識が高まっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への啓発活動</li> <li>・情報モラル教育との関連付けた指導</li> </ul>	学校教育課
21		<p>保育者が一人ひとりの子どもを尊重し、自分がかげがえのない存在であると感じたり、他人を大切にしようとする感情や意識が育つよう関わった。</p>	<p>自分や他人を大切にしようとする意識の浸透を図れている。</p>	<p>幼児期における性教育の取り組み方について保育者の理解を深めていく必要がある。</p>	幼保運営課

目標2 男女共同参画を推進する教育、学びの機会の充実(意識醸成・健康保持)

《目指すまちの姿》  
 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。また、男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。

施策番号【5】	男女の心とからだの健康保持・増進対策の推進
---------	-----------------------

施策の内容	男女が、ライフステージに応じて主体的に健康づくりに取り組むための支援を行います。	事業番号 22
	男女それぞれに特有な病気について、がん検診などの各種健康診査や特定健診などの受診促進を行い、がんの早期発見、早期治療を促進します。	23

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
22	住民向け健幸10か条に関連する啓発回数	年7回 (R2年度)	年76回					年80回 (R8年度)	健康課
23	①乳がん検診受診率(40歳から69歳までの女性) ②子宮がん検診受診率(20歳から69歳までの女性) ③前立腺がん検診受診率(40歳以上の男性)	①15.2% ②13.9% ③11.5% (R2年度)	① 17.1% ② 17.3% ③ 13.9%					①50.0% ②50.0% ③50.0% (R8年度末)	健康課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
22		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進計画を見直し、後期計画策定。計画の概要版(健幸10か条含)を全戸配布。また、図書館で「健幸10か条」や「健幸の日」を健康関連図書の紹介と合わせて展示周知啓発(6/1~8/31に、3図書館で1か月間づつ)。</li> <li>市庁舎では、毎月10日には「健幸の日」の庁内アナウンスやロビーでのパネル展示(11/7~11/18)を実施、折に触れコミュニティ等でも周知し、健康づくりの啓発を行った。</li> <li>コミュニティ等健康相談:366回延4495人実施。本人の状況に応じた保健指導を身近なコミュニティセンター等で実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる機会を捉えて健康増進計画後期計画や「健幸10か条」「健幸の日」について周知啓発し、健康づくりのきっかけづくりを行った。</li> <li>eモニターアンケートでの認知度:「健幸10か条」言葉も内容も知っている・言葉は知っている 27.6%(R2の市民アンケート 18.6%)</li> <li>コミュニティ等健康相談では個別対応により、個々の体調に応じた保健指導が行えている。</li> </ul>	「健幸10か条」「健幸の日」の認知度を向上させ、健康づくりに関心を持つきっかけづくりの継続が必要。また、市民会議メンバーや関係各所と連携し、特に働き世代へ有効なアプローチが必要。	健康課
23	—	—	—	—	健康課

## 目標2 男女共同参画を推進する教育、学びの機会の充実(意識醸成・健康保持)

### 《目指すまちの姿》

家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。また、男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。

施策番号【6】	女性の生涯にわたる健康保持・増進対策の推進
---------	-----------------------

施策の内容	思春期から更年期まで、生涯を通じて大きく変化する女性の健康について女性自身が的確に自己管理できるよう支援します。	事業番号 24～25
	地域において安心して安全に子どもを産み育てることができるよう、妊娠、出産、子育てにわたり切れ目なく支援を行います。	26

数値目標なし	
--------	--

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
24		災害備蓄の定期入替えに合わせて危機管理課から提供を受けた生理用品について、市内公立小中学校、丸亀市社会福祉協議会及び福祉課窓口等において配布を行うよう計画した。	生理の貧困について一定の周知を図ることができ、男女がお互いの身体的性差を理解し、健康の保持、増進について理解するきっかけとなった。	支援を必要とする方に、より効果的に提供できる方法について関係機関と協議を進めたい。	福祉課
25	—	—	—	—	健康課
26	—	—	—	—	健康課

### 目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

#### 《目指すまちの姿》

政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号【1】 政治への関心を高める取組の推進

施策の内容 市民の政治分野への関心度及び女性議員が増えない要因を分析し、女性議員数の増加にもつながるよう、市民の政治への関心を高める取組を行います。

事業番号

27～30

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
27	政治分野の男女共同参画に関連する啓発・情報発信回数	年1回 (R2年度)	年2回					年4回 (R8年度)	男女共同参画室
30	選挙に関連する学校への出前講座の実施回数と参加人数	年4回 438人 (R元年度)	年3回 272人					年8回 800人 (R8年度)	選挙管理委員会

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
27	—	女性の市政参画への意識啓発を図ることを目的として、11月19日に市役所5階議場にて「丸亀市女性議会」を初開催した。また、開催後に丸亀市男女共同参画情報紙「ゆめ」等にて、女性議会の参加者や質問内容などの周知を行った。	実際の議会と同様に質問を行うことで、参加者の能力向上につながったと考える。また、女性議会を市内に周知することによって、女性の政治分野の活躍を身近に感じてもらえたと考える。	女性の人材育成、政治分野の活躍推進を目的としているため、「女性議会」という形式に固定せず、より良い形につなげていきたい。	男女共同参画室
28	—	—	—	—	学校教育課
29	—	3年ぶりに議会報告会及び意見交換会を行い、参加者48名であった。市内4校の高校生や大学生44名と意見交換を行った。議会だよりの表紙を飾る写真を公募するなど、議会を身近に感じられるよう工夫した。尚、議会の傍聴は、116人中、半数近い54名が女性であった。	議会報告会や学生との意見交換会を行い、市民の政治への関心を高めることができた。	多くの市民に広く議会の活動内容等を知ってもらえるよう、テーマ設定など工夫が必要である。	議会事務局
30	—	市内高校2校と丸亀養護学校で出前授業と模擬投票を実施した。	学生に政治への関心を持ってもらうことができた。	政治への関心を持ってもらうことができたが、女性の立候補者が比較的少なく、選択肢として女性への投票機会に限られる。	選挙管理委員会

目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》  
 政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号【2】 行政機関における意思決定の場への女性の参画拡大

施策の内容	市民公募の拡大、団体への協力要請などを通じて、市の審議会等への女性委員の登用を進めます。	事業番号 31
	市役所女性職員の計画的な人材育成と管理職への登用を推進します。	32～33

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
31	①審議会等委員の女性登用率 ②女性登用率が40.0%～60.0%である審議会等の割合 ③女性のいない審議会等の数	①41.9% ②60.0% ③2 (R2年度)	①41.1% ②61.8% ③2					①45.0% ②72.0% ③0 (R8年度末)	男女共同参画室
32	①市役所女性管理職(全職種)の割合 ②市役所女性管理職(一般事務職)の割合 ※管理職:部長級、課長級、副課長級	①30.0% ②21.9% (R2年度)	① 32.7% ② 24.5%					①35.0% ②25.0% (R8年度)	職員課
33	能力開発・発揮職員研修の実施回数と参加人数	年4回 66人 (R2年度)	年1回 24人					年4回 100人 (R8年度)	男女共同参画室

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
31	—	—	—	—	男女共同参画室
32		キャリア形成支援研修を開催し、42名が参加した。また、女性のキャリアアップに繋がる研修等への派遣を行い、人材育成を推進した。	全職種・一般職ともに令和2年度より、女性管理職の割合が増加している。	女性の管理職登用を推進していくために、今後も、職員の意識開発と職場風土づくりについて、継続的な取り組みを行っていくことが重要である。	職員課
33		女性職員を講師とした「能力開発・発揮研修」を1回実施。テーマ「財務会計事務の基礎について学ぼう」(24人参加)	講義の前に講師のキャリアについての話す時間を設け、参加者のキャリアデザインを考えきっかけにつながったと考える。	人材育成の一環として、女性職員に講師を経験してもらいたいが、なかなか理解されづらいと感じる。	男女共同参画室

### 目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》

政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号【3】	企業などにおける意思決定の場への女性の参画推進
施策の内容	企業などに対し、意思決定の場への女性参画推進を働きかけます。
	事業番号 34～35

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
34	瀬戸内中讃定住自立圏女性活躍推進協議会主催の顕彰事業への申込数	年8件 (R3年度)	年4件					年15件 (R8年度)	男女共同参画室
35	専門職員による企業訪問数	年199件 (R2年度)	年233件					年300件 (R8年度)	産業観光課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
34	—	—	—	—	男女共同参画室
35	—	—	—	—	産業観光課

### 目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》  
 政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号【4】	防災における男女共同参画の推進	
施策の内容	防災の主体的な担い手として女性を位置づけ、男女共同参画の視点を取り入れた防災・復興体制を確立します。	事業番号 36～38
	避難所運営や被災者支援において、男女のニーズの違いなど、男女双方の視点に配慮した取組を推進します。	39

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
36	危機管理課が助成して認定を受けた防災士の累計人数(男女別)	女性19人 男性90人 (R2年度)	女性1人 男性8人					女性25人 男性115人 (R8年度)	危機管理課
37	避難所運営における男女共同参画等を啓発する出前講座実施回数と参加人数	年2回 35人 (R2年度)	年1回 16人					年4回 60人 (R8年度)	男女共同参画室
38	女性消防団員数 (うち、新規登録者数)	28人 (3人) (R2年度)	28人 (0人)					30人 (2人) (R8年度)	消防総務課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
36		コミュニティの自主防災組織を通じ、特に女性の防災士の資格取得を働きかけたのだが、取得した9名の内、女性は1名であった。	地域における防災の様々な取り組みにおいて、知見に基づいた多面的な意見を反映させることができる。	全体的には、まだまだ女性の割合が低いので、資格取得に向けた理解と協力を得る必要がある。	危機管理課
37	—	—	—	—	男女共同参画室
38		普通救命講習の受講及び応急手当指導員による救命講習の指導。コミュニティ参加による防災指導。火災予防広報活動。香川県消防団長等幹部研修会にて女性消防団活動を発表。女性消防団活性化大会(徳島大会)に5名の女性団員が参加した。	各種行事に参加した事により、多くの方に女性消防団が認知され興味をもってもらえる事が出来た。	女性消防団員は定数38名のところ現在27名(R5.4.1時点)である。各種イベント等に参加し、普及啓発活動を行い一人でも多くの入団に繋げる必要がある。	消防総務課
39		女性はもとより、高齢者、障害者等誰もが安心して避難生活をおくれるよう配慮すること、避難所の管理運営組織に女性を3割以上加えることなどを避難所運営マニュアル作成時に指導した。	男女のニーズの違いなど、男女双方の視点に配慮した取組を反映した避難所運営マニュアルが作成されている。	より具体的な方策が示されるよう訓練指導等行っていく必要がある。	危機管理課

目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》

《目指すまちの姿》  
 男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【1】 働き方改革の推進に向けた機運の醸成

施策の内容	男女がともに子育てや介護をしながら働き続けられるよう、長時間労働を前提とした働き方の見直しに、行政、企業、経済団体などが連携しながら取り組むとともに、社会的な機運の醸成に努めます。	事業番号 40～41
-------	--	---------------

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
40	ワーク・ライフ・バランスに関する啓発活動の実施回数	年12回 (R2年度)	年6回					年20回 (R8年度)	男女共同参画室
41	キッズウィーク休暇取得率	17.4% (H30年度)	— %					50.0% (R8年度)	産業観光課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
40	—	—	—	—	男女共同参画室
41		令和4年度は10月17日(月)を「丸亀こどもデー」とし、10月15日(土)～17日(月)のキッズウィーク期間中に関係各課等による各種イベントを実施した。 また、キッズウィーク推進協議会の調べによると、「丸亀こどもデー」に市内公立保育所・こども園を欠席した子どもの割合は約83%であり、「丸亀こどもデー」に青い鳥教室を利用した小学生の割合は約4.4%であった。	キッズウィーク期間中に親子で参加できる市内行事を掲載したチラシを配布したほか、市のホームページにも掲載し、キッズウィークの認知度向上や有給休暇取得促進の機運醸成を図ることができた。	地元中小企業の多くが慢性的な人手不足の課題を抱えているため、キッズウィークに合わせて休暇が取りやすい職場環境づくりや企業で働く人の休暇に対する意識改革を図るほか、企業が業務の効率化や生産性の向上を図れるよう、その為の取り組みが必要である。加えて、市外の企業に勤める保護者もキッズウィークに合わせて休暇が取得できるように、近隣市町と連携した取り組みを検討していく必要がある。	産業観光課



目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》

《目指すまちの姿》  
 男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【2】	企業などにおけるワーク・ライフ・バランスの推進
---------	-------------------------

施策の内容	働く男女のワーク・ライフ・バランス、女性活躍の実現・定着に向け、企業に対する広報・啓発を行うとともに、働く人と経営者が一致協力して行う企業の取組を支援します。	事業番号 42～44
-------	---	---------------

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
43	ワーク・ライフ・バランス推進のための取組について「特に何も行っていない」と回答した企業の割合(男女共同参画に関する企業アンケートより)	15.0% (R2.8)	—					0.0% (R7年度)	男女共同参画室
43	市内企業に勤める男性従業員の育児休業取得率(男女共同参画に関する企業アンケートより)	7.4% (R2.8)	—					30.0% (R7年度)	男女共同参画室
44	産業振興支援補助金(働き方改革)利用件数	年4件 (R2年度)	年3件					年5件 (R8年度)	産業観光課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
42		1月に実施した建設工事の入札参加資格審査申請において、男女共同参画推進に関する講演の受講や女性技術者の登用等に取り組んでいる企業に対し加点評価を行った。	企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進や女性活躍推進に寄与した。	人権講演会の受講については積極的に取り組んでいる事業者も多くみられるが、女性技術者の登用については感覚としてまだ少ないように感じるため今後もあらゆる機会を通して本取組みの周知を図っていきたい。	庶務課
43	—	—	—	—	男女共同参画室
44	—	—	—	—	産業観光課

目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》

《目指すまちな姿》  
 男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【3】 市役所におけるワーク・ライフ・バランスの推進

施策の内容	市内企業の「モデル事業所」となるよう、市役所において職員のワーク・ライフ・バランス推進、女性活躍推進に積極的に取り組みます。	事業番号 45～46
-------	--	---------------

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
45	①市役所男性職員の育児休業取得率 ②市役所男性職員の子育て参画のための特別休暇取得率	①10.5% ②94.7% (R2年度)	①26.7% ②86.6%					①50%以上 ②100% (R8年度)	職員課
46	市役所管理職向けイクボス研修の参加率	56.7% (R3年度)	40.0%					100.0% (R8年度)	男女共同参画室

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
45		ノー残業デーやキッズウィークの周知に加え、事務の効率化に取り組みつつ定員のヒアリングも参考にして職員配置を行った。ただ、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、各種イベント等が再開されている事もあり、時間外勤務の減少は困難だった。	男性の育児休業取得者が少しずつ増加しており、職場の中で育児に関する休暇を取得しやすい雰囲気作りができてきつつあると考えられる。	今後も育児休業等、休暇が取りやすい職場の雰囲気づくりについて全庁への周知啓発を行うとともに、事務の効率化等を行い、時間外勤務の減少に努めていく必要がある。	職員課
46	—	—	—	—	男女共同参画室

## 目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【4】	働く男女の健康管理対策の推進
---------	----------------

施策の内容	心身ともに健康に働けるよう、働く男女の健康管理対策を行います。	事業番号 47～48
-------	---------------------------------	---------------

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
48	中讃勤労者福祉サービスセンター登録人数	3,339人 (R2年度)	3,281人					3,350人 (R8年度)	産業観光課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
47		<ul style="list-style-type: none"> <li>丸亀市自殺対策基本計画見直しに伴い、9月に計画の概要や相談場所を含めたチラシを全戸配布し周知啓発。</li> <li>こころの健康について、9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間に合わせ、図書館で掲示。相談先等の周知に努めた。</li> <li>ゲートキーパー養成講座実施 3回120名。</li> <li>精神保健福祉士等専門職によるこころの健康相談の実施 11回14名。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺対策基本計画のチラシの配布で現状や相談先等広く周知できた。</li> <li>図書館での啓発は関連図書で紹介と合わせて行われ、こころの健康づくりのきっかけになった。</li> <li>ゲートキーパー養成数573人(H28年からの累計)受講者自身のセルフケアの機会にもなっている。</li> </ul>	ライフステージにより、こころの問題は異なっており、それに応じた啓発内容や啓発方法についての検討が必要。	健康課
48	—	—	—	—	産業観光課

**目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》**

《目指すまちの姿》  
 男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【5】 コンパクトシティの推進

施策の内容	家庭、職場、保育の場、介護施設が近接し、働きながら安心して子育てや介護ができるコンパクトなまちづくりを進めます。	事業番号
		49

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
49		<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画に基づく届出制度を適正に運用した。</li> <li>・大手町周辺地区都市再生整備計画に基づく公共施設整備を進めた。</li> </ul>	立地適正化計画を推進することにより、職住近接などワーク・ライフ・バランスに繋がるライフスタイルの啓発ができた。	新しいライフスタイルの啓発に止まらず、市民意識を変え、実践までを促すような取組が難しい。	都市計画課

## 目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【6】	子育て環境の整備、充実	
施策の内容	定住促進の視点も加えながら男女がともに仕事と育児を両立できるよう、多様な働き方に対応した保育サービスの充実に努めます。	事業番号 50～51
	障がいのある子どもたちや医療的ケアが必要な子どもたちを安心して育てられるように支援します。	52～55
	児童虐待の未然防止、解決に向けて実態把握に努めるとともに、虐待の早期発見、早期対応のために、関係機関と連携を密にし、被虐待児の保護対策や相談・通報事業を充実させます。	56
	地域で子どもを育てるために、地域での見守り体制の構築など、地域における子育て支援を充実させます。	57～59

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
50	各種保育サービスを実施している施設数 ②病児・病後児保育	② 1か所 (R3年度)	② 1か所					② 2か所 (R8年度)	子育て支援課
51	各種保育サービスを実施している施設数 ①延長保育 ③休日保育 ④乳児保育 ⑤一時預かり	①17か所 ③ 0か所 ④17か所 ⑤ 7か所 (R3年度)	①17か所 ③ 0か所 ④18か所 ⑤ 7か所					①18か所 ③1か所 ④18か所 ⑤8か所 (R8年度)	幼保運営課
52	①障がい児相談支援での計画作成数 ②医療的ケア児コーディネーター登録者数(市職員)	①439件 ② 1人 (R2年度)	①536件 ②2人					①610件 ② 3人 (R8年度)	福祉課
57	①ファミリー・サポート・センターの登録者数 ②ファミリー・サポート・センターの利用者数	①1,150人 ②1,958人 (R2年度)	①1,069人 ②1,407人					①1,150人 ②2,000人 (R8年度末)	子育て支援課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
50	—	—	—	—	子育て支援課
51	—	—	—	—	幼保運営課

事業 番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対し て、事業実施により得 られた効果	事業の実施状況を踏 まえた課題	担当課
52		令和5年度の相談実績は536件であり、相談支援事業所との緊密な連携により、障がい児やその家族の必要に応じたサービス等の提供に対応することができた。	障がい児やその家族の必要に応じたサービス等の提供に対応することで、保護者が精神的なゆとりを持つことができ、子育てや地域活動等に参画できる時間的な余裕も得られた。	引き続き、相談支援事業所と連携し、障がい児やその家族の必要に応じたサービスの確保や、速やかに支援を提供できるような支援体制づくりを検討する。また、医療的ケア児へ提供できる支援や、その家族を支援するサービス提供体制の確保に努めていく。	福祉課
53	—	—	—	—	子育て支援課
54	—	—	—	—	学校教育課
55	—	—	—	—	幼保運営課
56	—	—	—	—	子育て支援課
57		登録者数は1,069人で社会福祉協議会の会報誌や市広報などで呼びかけた。	社会福祉協議会の会報誌や市広報の呼びかけにより、毎月新規申請があった。	まかせて会員の会員数が減少している。お願ひ会員の利用に制限がかからないようにするためにも、まかせて会員の登録者数を増やすための活動が課題となる。	子育て支援課
58		・青い鳥教室は、昨年度より1教室増設し、市内全33教室で、感染拡大防止に努めながら、児童の受入れを行った。また、支援員の処遇改善等を行い、支援員の確保を図りながら、待機児童を発生させることなく、運営を継続している。 ・放課後子供教室では、担い手不足等で活動を中止した教室があった一方で、新たに活動を始めた教室もあり、青い鳥教室との連携も含めて、昨年度より、活動を拡大させた教室が多かった。	・青い鳥教室では、働く子育て世代の就労支援に繋がると同時に、子どもたちの放課後の安心・安全な居場所を確保することができた。 ・放課後子供教室では、放課後や長期休業期間の子どもたちに多様な体験活動を提供することができた。	・青い鳥教室では、支援員の確保や施設面での環境整備を行い、安定的に運営を継続していくことが必要である。 ・放課後子供教室については、各教室が活動内容を充実させると同時に、青い鳥教室との連携事業を引き続き進める。	教育総務課
59	—	—	—	—	幼保運営課

#### 目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》

《目指すまちの姿》  
男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【7】	高齢者などに対する介護支援の充実
---------	------------------

施策の内容	介護が必要な高齢者や障がい者を介護する人の負担を軽減させるために、介護支援や生活支援などのサービスを充実させます。	事業番号 60
-------	---	------------

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
60	認知症カフェ、介護教室などへの参加者数(男女別)	年2,416人 (男女—) (R元年度)	年1,530人 女性1,309人 男性221人					女性2,000人 男性500人 (R8年度)	高齢者支援課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
60		①市内15か所で認知症カフェを月1回開催(参加者:1,385人【内男性187人】) ②市内6か所のランチで年1回介護教室開催(参加者:65人【内男性7人】) ③認知症家族介護支援教室を年6回開催(参加者:80人【内男性27人】)	介護の知識・技術の習得の機会となり、また、相談の場ともなり、介護者の負担の軽減に繋がっている。	コロナ禍で開催を一部中止したものもあるが、必要時に必要な支援が提供できる支援体制の充実を図る。	高齢者支援課

目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》

《目指すまちの姿》  
 男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【8】	保育士の確保
---------	--------

施策の内容	保育の質と量を確保するため、保育士不足解消に向けた取組を進めます。	事業番号
		61

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
61	保育士修学資金や保育士就職準備資金の貸付数	修学:年5件 就職:年2件 (R2年度)	修学:年6件 就職:年21件					修学:年17件 就職:年10件 (R8年度)	幼保運営課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
61		市が条例化して事業拡充し、貸し付けを直接行うことで前年度と比べて件数が増加し、保育士を目指す者の修学及び就職を支援することにより保育士確保に寄与できた。	保育士の確保を通じ、男女の均衡したワーク・ライフ・バランスを推進することができた。	修学資金等の貸し付けによる支援だけでなく、早期の離職防止のために保育環境の整備、保育士の処遇改善が求められる。	幼保運営課



#### 目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》

《目指すまちの姿》

男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【9】	介護職域における人材の育成、確保
---------	------------------

施策の内容	介護の質と量を確保するため、介護職員不足解消に向けた取組を進めます。	事業番号 62
-------	------------------------------------	------------

数値目標なし	
--------	--

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
62		介護保険制度のうちではあるが、介護職員処遇改善加算3種類が創設され約8割弱のサービス(事業所)が取得・活用されている。賃金向上が介護職員不足解消の一助になっていると考える。	介護人材不足による事業所廃止などではなく、ニーズに対してサービス提供が維持されていると考える。これにより、サービス活用によるワークライフバランスに貢献できているものと考え。	介護人材不足を数的に補うことは困難な時代であると認識しており、これを、質や最新技術等でカバーしようとしており、どこまでできるのか不透明である。	高齢者支援課

## 目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進(職場・家庭・地域活動)《重点目標》

《目指すまちな姿》  
 男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。

施策番号【10】 男性の家庭生活への参加を前提とした、男女や多様な世代の相互支援促進と活動支援

施策の内容	事業番号	
	男性の家事、育児、介護などへの主体的な参画を促すため最適な時期を意識した広報・啓発活動を行うとともに、マルチタスの活用やWEB会議などの活用も含め、学ぶ機会を増やします。	63~67
	家庭生活や地域活動、市民活動の様々な場面に存在する固定的な性別役割分担意識に基づく慣行やしきたりの見直しを多様な世代に対し働きかけ、活動を支援します。	68~69
	就業している男女が地域活動や市民活動の大切さを理解し、協力できるよう、市役所職員をはじめとする就業者や企業に働きかけます。	70~71
男性が子育てに参画しやすくなるための環境整備を推進します。	72~73	

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
64	男性の料理普及啓発者数(丸亀市食生活改善推進員)	8人 (R2年度)	8人					10人 (R8年度末) ※目標値変更	健康課
71	①市民活動者同士の交流会の参加者数 ②市民活動に関連する窓口相談延べ件数	①— ②— (R2年度)	①54人 ②705件					①28人 ②1,000件 (R8年度)	生涯学習課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
63	—	—	—	—	男女共同参画室
64	/	・熟年者を対象とした男性料理教室の開催(実施回数:年3回・参加者数37名) ・男性料理教室(各コミュニティセンター等 バランス料理)(実施回数:13回・参加者数:166名)	・料理教室参加者が自宅でも料理するようになった ・バランス料理に参加する男性人数はR3年度222名からR4年度は347名に増加した	男性会員数が減少傾向にある。	健康課
65	—	—	—	—	高齢者支援課
66	/	男女共同参画週間のある6月に、お父さんにおすすめする読み聞かせのための絵本を、大まかに年齢別に選定して展示し、閲覧や貸出を行った。	父親を対象にした「読み聞かせおすすめ絵本」の展示を行うことで、気軽に子どもへ読み聞かせを行う機会を提供することができた。	絵本の読み聞かせは、子どもと一緒に簡単に楽しむことができるので、今後も励めていきたい。	図書館
67	—	—	—	—	幼保運営課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
68	—	—	—	—	男女共同参画室
69		これまでの慣行などに捉われず、男女の区別なく地域活動に参加できる環境づくりを行うようコミュニティに呼びかけた。	丸亀市コミュニティ協議会連合会の役員に継続して女性が登用された。 また、各コミュニティが実施する行事に、女性をはじめ幅広い世代の方の参加があった。	地域活動へ幅広い世代の方の参加を促すことが課題である。	生活環境課
70	—	—	—	—	男女共同参画室
71		①毎回違うテーマで参加者を募集し、活動者同士が話し合える場を定期的に開催した。(年6回) ②活動を始めたい人や団体の運営等幅広い内容の相談を受け付けた。	①自らの活動の情報発信等を行う中で、横の繋がりが生まれた。 ②アドバイスや情報提供を行い、活動のステップアップが図れた。	①より多くの方が交流できるように開催日数を増やすなどの改善が必要。 ②相談内容に対して的確な回答ができるような体制整備が必要。	生涯学習課
72		飯山南地区の公園整備工事に着手した。	居住地の近隣に公園を整備することにより、気軽に安心して子どもを遊ばせる場所を確保できるようになった	まだ近隣に公園が不足している地域があり、引き続き整備を行う必要がある。	都市計画課
73		本島コミュニティセンター、総合運動公園多目的広場に、ベビーチェア、ベビーベッド等を備えた男性トイレや多目的トイレを整備した。	男性が子育てに参画しやすくなるための環境整備を推進した。	公共施設の建設時に、ベビーチェア、ベビーベッド等を備えた男性トイレや多目的トイレを整備できるスペースの確保が必要である。	住宅課

目標5 労働環境における女性活躍の整備

《目指すまちな姿》  
 就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号【1】 女性の就職・再就職、継続就労、起業・創業などのための支援

施策の内容	事業番号	
	働き続けたい女性が能力を発揮し、生き生きと働けるよう、女性の能力開発やネットワークづくりなどを支援します。また若い世代に働き方について考える機会を提供します。	74~75
	子育て、介護などにより離職した女性の再就職、起業・創業などの支援を行います。	76
働きたい女性、働く女性の悩みや困りごとなどの解消につながる相談事業を実施します。	77~78	

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
74	働く女性向け交流会の開催回数や新規採用職員研修での講演回数と参加者数	— (R2年度)	年2回 年45人					年3回 年30人 (R8年度)	男女共同参画室

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
74	—	—	—	—	男女共同参画室
75		産業振興支援補助金における人材育成メニュー利用件数は、40件であった。	企業へのPRに努めた結果、産業振興支援補助金のメニューのうち、男女を問わず、「人材育成」の利用件数が最も多くなっており、制度利用促進に繋がっている。	産業振興支援補助金や企業訪問での聞き取りを通じたニーズ調査により、引き続き支援に取り組む。	産業観光課
76		①産業振興支援補助金における創業メニュー利用件数は、14件であった。 ②平成29年度に「創業支援等事業計画」を策定し、地域の経済団体や金融機関、創業支援機関と連携し、創業に関する支援策を提供している。創業相談件数は99件であった。	①女性比率について、産業振興支援補助金「創業」7件/14件(50%) ②創業相談件数50件/99件(50%)〈相談人数14名/34名(41%)〉	女性は、一般的に男性よりも開業率が低く、家事・育児との両立や資金調達が困難であることから、創業に至らない場合が多い。令和4年度の補助金(創業)や創業相談件数においては、女性の割合は約半数近くになっている。引き続き関係機関と連携をし、支援に取り組む。また、施策を逐次見直し、支援対象者の要望に沿うよう、検討する。	産業観光課
77	—	—	—	—	男女共同参画室
78	—	—	—	—	産業観光課

## 目標5 労働環境における女性活躍の整備

### 《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号【2】 企業などにおける男女雇用機会均等対策の推進

施策の内容	性別を理由とする採用、配置、昇格などにおける差別的取り扱いやセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントなどが行われない職場づくりを促進します。また、性別による賃金格差是正についての取組を検討します。	事業番号 79～81
-------	--	---------------

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
79	市役所キャリア形成支援研修の受講者数	年40人 (R2年度)	年42人					年60人 (R8年度)	職員課
80	セクシュアル・ハラスメントに対する取組について「特に何も行っていない」と回答した企業の割合(男女共同参画に関する企業アンケートより)	26.6% (R2.8)	—					10.0% (R7年度)	男女共同参画室

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
79		キャリア形成支援研修を実施し42名の参加があった。また、女性のキャリアアップに繋がるような研修等への派遣を行い、人材育成を推進した。 ハラスメント対策として、ハラスメントが行われないような職場づくりのために全庁への定期的な周知啓発を行った。	キャリア形成支援研修の実施や、女性リーダー養成のための派遣研修、ハラスメントについての周知啓発を通して、人材育成と働きやすい職場風土づくりが、徐々に進んでいると考えている。	女性の管理職登用や女性が働きやすい職場づくりを推進していくために、今後も、職員の意識開発と職場風土づくりについて、継続的な取り組みを行っていくことが重要である。	職員課
80	—	—	—	—	男女共同参画室
81	—	—	—	—	産業観光課

## 目標5 労働環境における女性活躍の整備

### 《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号【3】	女性の参画が進んでいない業種での女性就業への理解促進と農林水産業、商工業など、自営業に従事する女性への支援
施策の内容	女性の参画が進んでいない業種において、女性の就業と定着が促進するよう、関係団体への啓発と支援を行います。また、自営業に従事する女性たちが更なる活躍につながるよう女性のネットワークづくりを支援します。
	農林水産業における男女共同参画意識が確立するよう、学習機会の提供、働きやすい環境の整備などの支援を行います。
	事業番号 82～83
	84

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
84	女性認定農業者数	15人 (R2年度)	15人					17人 (R8年度末)	農林水産課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
82	—	—	—	—	男女共同参画室
83	—	—	—	—	産業観光課
84		農業経営者及び家族のために簿記記帳会を開催している。	参加者の3割程度が女性であり女性の農業経営に対する学習機会を提供し、女性が帳簿関係の学習をすることにより経営に参画することができた。	女性が農業経営に参加できるよう女性の比率を確保する必要がある。	農林水産課

目標6 女性に対するあらゆる暴力の根絶(教育・啓発・相談体制)《重点目標》

《目指すまちの姿》  
市民が女性に対するいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、性暴力など、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号【1】	あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施
---------	---------------------------

施策の内容	DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力を許さないという意識を社会全体で共有するために、新しい手法も模索しながら様々な機会を通じて年齢層に合わせた広報・啓発活動を行います。	事業番号 85～89
	暴力に対する抑止力となるよう、地域の意識を高めるような啓発活動を行います。	90

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
86	デートDVも含むDV防止に関する啓発活動の実施回数	年22回 (R2年度)	年29回					年25回 (R8年度)	男女共同参画室

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
85	—	—	—	—	危機管理課
86	—	—	—	—	男女共同参画室
87		人権課をはじめ庁内関係課及び地域団体等と連携を図り、DV防止及び児童虐待防止のパープル&オレンジリボンの作成や配布を行い、啓発活動を行なった。	DV防止と児童虐待防止を兼ね合わせて、庁内関係課及び地域団体との連携することで広く周知啓発を行うことができた。	今後も機会を捉えて、さまざまな方法で地域に広く周知啓発していく必要がある。	子育て支援課
88		・「性犯罪・性暴力対策の強化」に関する国の通知に基づいた指導を、定期的に行なった。 ・文科省作成の教材や資料に関する周知を行なった。	教職員の中に、教育・啓発の意識が高まってきている。	・デートDVに関する生徒・保護者の認知が低い。 ・文科省作成の教材や資料の有効活用	学校教育課
89		・掲示、配布物などにおいて保護者への啓発を図った。 ・文書資料を配布し、園内研修において話し合う機会を設けた。	保護者も教職員も、DV、セクシュアル・ハラスメントなどの暴力は許されないということを意識する機会となった。	コロナ禍であったことから、保護者に対して掲示物や配布物を通しての啓発にとどまった。	幼保運営課
90	—	—	—	—	男女共同参画室

目標6 女性に対するあらゆる暴力の根絶(教育・啓発・相談体制)《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民が女性に対するいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、性暴力など、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号【2】 相談窓口の周知

施策の内容	イベントや研修会の場などで相談窓口の周知を行うとともに、民間店舗などに相談シールの貼付などについて協力を求めます。	事業番号
		91

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
91	相談シールの貼付か所数 ①公共施設 ②民間施設	①113か所 ②165か所 (R2年度)	①111か所 ②242か所					①120か所 ②500か所 (R8年度末)	男女共同参画室
91	DV相談の窓口として、次の相談先を知っている人の割合 ①丸亀市家庭児童相談室 ②香川県子ども女性相談センター (男女共同参画に関する市民アンケートより)	①20.4% ②20.9% (R2.8)	—					①40.0% ②40.0% (R7年度)	男女共同参画室

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
91	—	—	—	—	男女共同参画室



## 目標6 女性に対するあらゆる暴力の根絶(教育・啓発・相談体制)《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民が女性に対するいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、性暴力など、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号【3】 発見通報に関する関係機関への働きかけの実施

施策の内容	事業番号
民生委員・児童委員や人権擁護委員に対し、被害者の早期発見などについて、理解と協力を求めます。	93

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
92	—	—	—	—	男女共同参画室
93	—	—	—	—	男女共同参画室

**目標6 女性に対するあらゆる暴力の根絶(教育・啓発・相談体制)《重点目標》**

《目指すまちの姿》

市民が女性に対するいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、性暴力など、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号【4】	相談員の資質向上のための研修実施と心理的ケアの充実	
施策の内容	被害者の人権に配慮した対応を行うように、相談員の資質向上に努めます。	事業番号 94
	相談員のメンタルヘルスケアを行うなど、一人で抱え込むことのない体制をつくります。	95

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
94		県が行う研修へ積極的に参加し、相談員としてのスキルアップに努めた。また、参加後は、家庭児童相談室内で、報告し全体共有を行った。	研修で得た情報や学びを全体で共有することにより、各相談員が相談対応時、被害者に寄り添い必要な対応を行うことができた。	幅広い相談内容に対応するために、継続的に相談員の資質向上を図る必要がある。	子育て支援課
95	—	—	—	—	子育て支援課

**目標6 女性に対するあらゆる暴力の根絶(教育・啓発・相談体制)《重点目標》**

《目指すまちの姿》  
市民が女性に対するいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、性暴力など、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号【5】	DV被害者が一時的に避難できる場所の確保
---------	----------------------

施策の内容	緊急に保護を求めてきた被害者が、一時保護が行われるまでの間、一時的に避難できる場所を、香川県子ども女性相談センターや警察と連携しながら確保します。	事業番号 96
-------	---	------------

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
96	—	—	—	—	子育て支援課

**目標6 女性に対するあらゆる暴力の根絶(教育・啓発・相談体制)《重点目標》**

《目指すまちの姿》

市民が女性に対するいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、性暴力など、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号【6】	DV被害者と同伴の子どもへの適切な情報提供と切れ目のない支援の実施
---------	-----------------------------------

施策の内容	被害者の立場を十分考慮したうえで、自立した生活に向けた支援を行います。	事業番号 97～98
	男性被害者への支援の方法を検討します。	99

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
97	—	—	—	—	男女共同参画室
98	—	—	—	—	子育て支援課
99	—	—	—	—	子育て支援課

## 目標7 困難を抱える人が安心して生活できる環境整備

《目指すまちの姿》  
市、企業やNPO等のほか、地域が相互に連携して、本当に支援を必要とする人への助け合いが広がり、困難を抱えた人も安心して生活しています。

施策番号【1】 ひとり親家庭への支援の充実

施策の内容	ひとり親家庭の母親や父親、その子どもに対して、子育て支援や就業支援など、各家庭の状況に対応した支援を行います。	事業番号
		100～103

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
100		生活困窮者及び生活保護世帯の小・中・高1を対象に週2回の学習支援を実施した。(小・7名、中・8名、高1・2名)出席率の高い児童については目に見えて学力が向上しており、学習支援の他に野外活動やクリスマスパーティーの実施など子どもの居場所としても利用につながっている。	新型コロナウイルス流行前に比べて全体の出席率は低下しているものの、学習支援のみではなく自宅学習に取り組む習慣作りの効果が見られた。	更なる支援の拡大のため、埋もれている支援を必要とする世帯の掘り起こしが課題である。	福祉課
101	—	—	—	—	子育て支援課
102	—	—	—	—	住宅課
103		就学奨励費について、小中学校を通じて、全学年の保護者に制度の周知を行い、支援が必要な家庭に学用品費等の支給を行った。 また、子育て支援課との協力・連携により、ひとり親家庭となった家庭が窓口で手続する際、就学奨励費制度を周知し、総務課窓口へ案内してもらうことで、保護者に直接制度の説明を行い、援助へ繋げることができた。	子育て支援課との連携によりひとり親家庭への制度の周知を徹底することができた。	支援の必要な家庭へ援助が届くよう、引き続き周知徹底を図りたい。	教育総務課

## 目標7 困難を抱える人が安心して生活できる環境整備

### 《目指すまちの姿》

市、企業やNPO等のほか、地域が相互に連携して、本当に支援を必要とする人への助け合いが広がり、困難を抱えた人も安心して生活しています。

施策番号【2】	高齢者が安心して暮らせる環境の整備
---------	-------------------

施策の内容	高齢者が家庭や地域で安心して暮らすことができるよう、地域生活の支援や生活環境の向上に取り組みます。特に高齢単身女性の相対的貧困率が高い現状を踏まえ、安定した生活が営めるよう支援を行います。	事業番号
		104～108

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
104	—	—	—	—	福祉課
105		総合相談事業を地域包括支援センターだけでなく、市内6事業所に委託しているランチ(相談窓口)において実施している。具体的には、市高齢者支援課からの情報だけでなく民生委員等からの情報提供や独自の情報網を活用しながら地域の小さな声(ニーズや困りごと)を把握し、関係課につないでいる状況。	在宅生活の維持がはかれるよう高齢者福祉制度等につなげている	地縁が薄くなっている時代に地域の小さな声をすくいあげるのは益々困難になってきていると考える	高齢者支援課
106	—	—	—	—	都市計画課
107	—	—	—	—	住宅課
108		幹線道路では、「多くの人々が利用しやすい道路」となるよう整備を実施。生活道路では、計画的に舗装修繕を実施。このことで、道路利用者へ安全で安心できる道路空間の提供に努めた。	幹線道路の整備、生活道路の舗装修繕とも予定どおりの事業進捗となった。	幹線道路の整備、生活道路の舗装修繕とも予算の安定的な確保が必要である。	建設課

## 目標7 困難を抱える人が安心して生活できる環境整備

### 《目指すまちの姿》

市、企業やNPO等のほか、地域が相互に連携して、本当に支援を必要とする人への助け合いが広がり、困難を抱えた人も安心して生活しています。

施策番号【3】 障がい者が安心して暮らせる環境の整備

施策の内容

障がい者が家庭や地域で安心して暮らすことができるよう、生活環境の向上や地域生活の支援に取り組むとともに、社会参画のための支援を行います。特に障がいのある女性については、女性であることでさらに複合的な困難を抱えることがあるという視点に立って事業を行います。

事業番号

109～112

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
109	—	—	—	—	福祉課
110	—	—	—	—	都市計画課
111	—	—	—	—	住宅課
112		幹線道路では、「多くの人が利用しやすい道路」となるよう整備を実施。生活道路では、計画的に舗装修繕を実施。このことで、道路利用者へ安全で安心できる道路空間の提供に努めた。	幹線道路の整備、生活道路の舗装修繕とも予定どおりの事業進捗となった。	幹線道路の整備、生活道路の舗装修繕とも予算の安定的な確保が必要である。	建設課

## 目標7 困難を抱える人が安心して生活できる環境整備

### 《目指すまちの姿》

市、企業やNPO等のほか、地域が相互に連携して、本当に支援を必要とする人への助け合いが広がり、困難を抱えた人も安心して生活しています。

施策番号【4】	外国人が安心して暮らせる環境の整備
---------	-------------------

施策の内容	国籍や文化などの違いにかかわらず外国人が安心して暮らすことができるよう、多言語による情報提供や、日本語の学習機会などの学習支援を充実させます。また、外国人の地域活動への参画促進に努めるとともに、市民の多文化共生への理解を深め、外国人が暮らしやすい環境の整備を進めます。特に女性の外国人については、女性であることでさらに複合的な困難を抱えることがあるという視点に立って事業を行います。	事業番号
		113

事業番号	指標 ※( )は当該年度の目標値	数値						目標値	担当課
		現状値	R4	R5	R6	R7	R8		
113	外国人人口に占める延べ相談件数の割合	77.5% (R元年度)	85.5%					100% (R8年度)	秘書政策課

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
113		<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人相談業務 通訳・翻訳を含め年間1,933件の相談業務の実施</li> <li>日本語教室 外国人向け日本語教室の開催(日曜教室48回、水曜教室50回)</li> <li>多言語での情報発信</li> <li>各種講座、交流会等の開催</li> </ul>	多言語での情報発信や相談業務、日本語教室の実施により外国人住民の支援を行い安心して暮らせる環境づくりに努めた。また、「多文化共生防災講座」等の各種講座、交流会等では外国人、日本人が共に参加し、多文化共生への理解を深める契機となった。	コロナ関係で増加していた相談件数は落ち着いてきたが、相談内容は多岐にわたり複雑な事例も増えてきている。引き続き、関係各課と連携し相談者に寄り添った対応ができるように努める。	秘書政策課



目標7 困難を抱える人が安心して生活できる環境整備

《目指すまちの姿》  
市、企業やNPO等のほか、地域が相互に連携して、本当に支援を必要とする人への助け合いが広がり、困難を抱えた人も安心して生活しています。

施策番号【5】 多様な性を認める意識の醸成に向けた啓発の実施

施策の内容	性的少数者が安心して暮らすことができるよう、正しい理解の促進や啓発に努めます。	事業番号 114
-------	---	-------------

数値目標なし

事業番号	R4事業計画	R4事業実績	目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	事業の実施状況を踏まえた課題	担当課
114		研修や講演会の実施、相談窓口の受付、意見交換会の開催、啓発パネルの展示、パンフレットの改訂、パートナーシップ制度の導入・周知など、当事者への支援・市民への周知に取り組んだ。	意見交換会では参加者から活発に意見が挙がり、それに当事者が応えることで理解促進に繋がった。終了後に個別相談に訪れる者もあり、安心して暮らせる環境作りにも繋がった。	2件あった相談窓口の利用は、理解を深める目的のもので、悩みを抱えた当事者の利用ではなかった。相談窓口を気軽に利用してもらえるよう、周知方法を検討する必要がある。	人権課

